

秋の叙勲

昭和42年高木医院を開設、以来43年余りにわたり地域医療に従事され、住民の健康管理、保持増進に努めてこられました。また旭市海上郡医師会の理事、会長などの要職を歴任し、会員の指導にあたりとともに、公衆衛生、学校保健、社会福祉および介護支援活動、予防接種の充実に尽力され、地域医療の推進に貢献されました。



旭日双光章

(保健衛生功労)

高木良章さん

78歳 (口)

昭和58年保護司に就任し、以来27年間の長きにわたり社会奉仕活動に精励され、罪を犯した人や非行のある少年の改善更生と地域社会の環境浄化に従事されています。細やかな気配りを絶やさず親身に接し、数多くの保護観察対象者を更生に導いてこられました。



瑞宝双光章

(更生保護功労)

向後節子さん

74歳 (二)

平成12年からは、旭地区保護司会理事や副会長などを務め、後進の指導にも尽力されました。

日ごろの学びを発表

青年の家登録団体フェスティバル

青年の家を利用して活動している団体が、日ごろの活動の成果を発表しようと10月24日、青年の家体育館でフェスティバルを開催しました。歌やダンス、柔道や剣道など11団体が行った公開演技では、それぞれの発表が終わるたびに、会場から大きな拍手がわき起こっていました。また会場に飾られた陶芸や日本画が、訪れた人の目を楽かせていました。



▲気を感じながらゆっくりと動く太極拳の発表

旭農生徒が食育授業



◀箱の中の食材を必死に当てようとする児童

旭農業高校生活科学科の2年生女子8人が、バランスの良い食事について学んでもらおうと10月27日、滝郷小の3年生に食育の授業を行いました。

旭農の生徒たちは、説明に大きなイラストを使ったり、食材の働きごとに色分けしたシートに、児童が自分で食材のイラストを張ったりできるように工夫するなど、興味や関心を引きながら授業をしていました。目隠しをして、箱の中の食材を当てるクイズでは、こわごとと箱の中に入手を入れる姿に教室也大いに盛り上がり、食べ物の持つ働きや食事の大切さなどを楽しく学んでいました。

花と共に育てる思いやりの心

人権の花運動

花の種や球根などを児童が協力して育てることで、生命の尊さを学び、やさしさと思いやりの心をはぐくんでもらおうと、今年も「人権の花運動」が行われました。今年は干潟小、鶴巻小、古城小の3校に県の人権の花であるシャクヤクの苗10株ずつが贈られ、各学校の子どもたちは、一人ずつ手渡されたシャクヤクの苗を、先生や人権擁護委員が耕した花壇に、丁寧に植えていました。



▲鶴巻小 (11月5日)



▲干潟小 (10月29日)



▲古城小 (10月28日)

パークゴルフと旭の食を堪能

第3回向太陽杯パークゴルフ大会

市の特産品などを広くPRし、好感度や認知度を上げようと10月29日と30日の2日間、あさひパークゴルフ場でパークゴルフ大会が行われ、全国各地から参加した男女158人が、プレーを楽しみました。



▲「もうちょっと！ 入れ！」思わず声が



◀「本当においしい」と大好評のチャーシューメンを食べる参加者

昼食ではチャーシューメンや米粉シチュー、バーベキューに太巻きなど、食の宝庫である旭を十分に知ってもらうことのできるメニューで参加者をおもてなし。

この大会に3回連続で参加しているという県外からの参加者は「また次回も是非参加したい！」と力強く答え、笑顔でプレーしていました。



◀男子初優勝の島田重雄さん(左・見広)と女子2連覇の中島幸子さん(右・船橋市)

心地良いメロディーが会場を包み込む

旭市小学校音楽会

市内の小学校15校が一堂に会し、吹奏楽や合唱などを行う小学校音楽会が11月5日、文化会館大ホールで行われました。児童たちは、ポップスや吹奏楽曲などを、リズムに合わせて体を揺らしながら演奏すると、会場から大きな拍手が起きていました。

最後は「もみじ」を会場全体で大合唱。練習してきた成果を出し切り、緊張から解き放たれた児童たちも、笑顔で歌っていました。



▲すばらしいハーモニーを奏でる中和小の児童たち

鮮やかに咲いた菊の共演

旭市菊花大会



◀「上手に咲かせているね」と見られる来場者

中央児童遊園で11月1日から15日まで、菊花大会が開催され、丹精込めて育てた鉢物や創作盆栽など270点の作品が展示されました。「今年は酷暑の影響で、菊の成長が遅かったけれど、そのおかげで大会最終日まできれいに咲いていてくれそう」と、出展者たちはうれしそうに話してくれました。訪れた人たちは、純白や黄色など鮮やかに咲き誇る菊にしばし見とれていました。

日ごろの活動の成果を発表

第6回旭市文化祭

文化活動の成果を発表しようと10月30日から11月7日、市内の公民館などを会場に、文化祭が開催されました。会場を訪れた人たちは、公民館講座に参加している生徒たちなどが制作した陶芸や生け花に見入ったり、芸能発表などに声援を送ったりしていました。



▲干潟地域

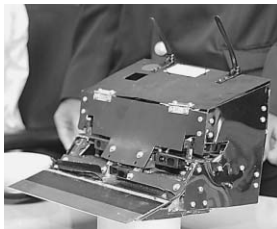
◀飯岡地域

技術の高さを証明！ 全国へ連続出場

第18回高校生ロボット相撲全国大会

東総工業高校の生徒3人が10月16日、つくば市で行われたロボット相撲の全国大会に出場しました。東総工業は2年連続での全国出場。出場部門はプログラムが入力されているロボットが自動で動く自立型と、コントローラーでロボットを動かすラジコン型の2部門。善戦の結果、自立型に出場した玉置輝さんがベスト8の好成績を収めました。

▶自立型ロボット



▲左からラジコン型で出場の久保維人さん（1年）、自立型に出場の玉置輝さん（2年）、高岡幸平さん（2年）

決めるアタック！ 全国での活躍を期待

2010 JOC千葉選抜男子バレーボール

▶胸に輝く千葉選抜の文字が代
表の証し。左から小林大輔さ
ん（3年）、平野顕資さん（3年）



旭二中バレーボール部に所属する男子生徒の2人が千葉選抜に選出され、12月25日から大阪市で行われるJOCジュニアオリンピックカップ第24回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に出場します。県内の中学バレーボール選手のほとんどが参加した選考会を勝ち抜いた2人は「日本一を目指します」「落選した人の方まで責任あるプレーをしたい」。送り出す顧問の先生は「2人とも一生懸命。大舞台でもいつもどおりのプレーをしてもらいたい」と話していました。

県内最強の陸上部です！

第35回千葉県中学校新人体育大会 陸上競技大会

県総合スポーツセンター陸上競技場で10月16日、17日に新人体育大会の陸上競技大会が行われ、旭二中陸上部が女子総合優勝、男女総合でも優勝を手にしました。大会では女子砲丸投げの鈴木夢さん（2年）の優勝をはじめ、入賞した4種目の選手たちもすべてが3位以上の好成績を収めるなど大活躍。陸上部は、実力の高さを証明しました。



▲Vサインで決める旭二中陸上部

受け継ぐ伝統 境内で奉納相撲

黒虎相撲

袋区の太田神社で11月3日に秋の例大祭が行われ、江戸時代から伝わる黒虎相撲が奉納されました。この相撲は、江戸で成功した地元出身の商人たちが奉献した大鳥居の落成を記念し、

玄人相撲を奉納したのが由来。この日は、地元小学生と青年団の力士38人が東西に分かれて熱の入った取組を行いました。また青年団の東西横綱が化粧まわしを着け、本格的な土俵入りを披露するなど、会場は訪れた人たちの歓声に包まれていました。

▶「よいしょー！」高々と足を上げ四股を踏むと、会場から一斉に声が上がりました



名人集結！ 釣果を競う

秋のヘラブナ釣大会

市内外の釣り名人が大勢参加する恒例のヘラブナ釣大会が、袋東ため池と長熊釣堀センターで開催され、釣果を競い合いました。優勝者は以下のとおり。

袋東ため池（10月24日）／土屋清滋（成田市）
長熊釣堀センター（11月3日）／男子の部：湯本文男（千葉市）、女子の部：永井季子（清和乙）、子どもの部：八本光司（鎌数） ※敬称略



▶抜群の手応えに竿が大きくしなりま
す（袋東ため池）

栄冠 2人に輝く！

滝郷学園の豊田能知さん（八日市場特別支援学校高等部／2年）と苗村修悟さん（銚子商高定時制／1年）が輝かしい勝利を手にしました。豊田さんは、10月23日から25日に行われた、第10回全国障害者スポーツ大会ゆめ半島千葉大会の少年男子50m走と同100m走の2種目で金メダルを獲得。苗村さんは、11月10日に行われた平成22年度千葉県高等学校秋季定通体育大会の剣道の部で優勝しました。豊田さんは「2つのメダルが取れてうれしい、来年も出る機会があれば勝ちたい」。苗村さんは「優勝はうれしい。でも夏の全国大会で負けた（ベスト8進出）のがとにかく悔しいので、もっと強くなりたい」と、話していました。



▲2つの金メダルを手にガッツポーズの豊田能知さん(左)、千葉県王者となった苗村修悟さん(右)

障害者との交流の輪広がる

ロザリオ福祉まつり



障害者やその家族、地域社会との交流の輪を広げようと10月24日、ロザリオ福祉まつりが行われました。会場では、家族会や福祉団体など100団体以上が出店。市内の中学校や矢指小学校の子どもたちもボランティアとして参加して、一緒に祭りを盛り上げていました。

訪れた人たちは、並べられた商品を手にすると、障害者やボランティアの人たちと、楽しそうに言葉を交わしながら、目当ての商品を買い求めていました。

未来の発明家たちが全国に挑戦

全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

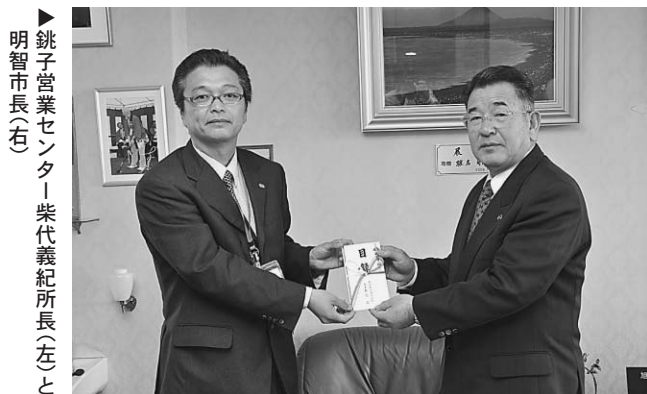
モーターとゴムで動くハイブリッドカーを、規定の材料を使って工作し走行距離を競い合うこのコンテスト。全国から1,018チームがエントリーする中、旭少年少女発明クラブのチーム「スターフィッシュ」が8月29日の青年の家体育館で行われた地区予選会で53.65mという記録をマーク。全国から46チームのみが出場できるという狭き門を突破し、11月27日に東京都で行われた全国大会へ出場しました。



▲全国大会に出場した菅谷文哉くん（左・豊畑小6年）、小川和也くん（中・中央小5年）、北澤泰智くん（右・中央小3年）

防犯灯の設置で明るく安全なまちに

東京電力が防犯灯を寄贈



地域の防犯活動に役立ててもらおうと11月12日、東京電力株式会社成田支社から、防犯灯が寄贈されました。市では、子どもたちをはじめ、市民が事故や犯罪に遭わないよう、暗い夜道の解消に役立てていきます。

より良いまちづくりのため意見を交換

地区懇談会

市長が直接市民の皆さんと話し合い「自立・共生・協働」による、誰もが住み良いまちづくりを実現するため、11月2日から10日にかけて市内各地域で地区懇談会が開催されました。各会場では、地域の身近な問題から市全体の活性化についてなど、さまざまな意見が出ていました。



▶積極的に意見を述べる参加者（海上公民館／11月9日）